

分子模型を作る会を終えて

1999. 5. 11 (改) 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

●「もう4時だから片づけてもいいよね…」

11月8日(日), 4回目の分子模型作りの会を行いました。しかし, 参加者はいませんでした。前日までの申し込みは4名いましたが, キャンセルが1名, 1週間間違っていた人が2名です。

でも, 『たの授』にも宣伝を載せてもらったし, 「連絡無しで来る人もいるかなー」と思い, 娘の恵理菜と2人で過ごしました。

そうそう, 訪問者は様子を見に来た警備の女性, 孫が迷い込んで入ってきたのを追いかけてきた女性, 「今日はどうだい?」と声をかけてくれたレピオの館長さん, そして参観授業が終わってから様子を見に来てくれた中井さん(岩内中央小)です。

で, 一郎は何をしていたかというところ, 冬の体験講座で配る予定の《いろいろな気体》に出てくる分子模型をひたすら作り続けていたのでした。

そして時間は過ぎて, 中井さんに, 「もう4時だから片づけてもいいよね…」と話して, その日は会を終えたのでした。

●そういえば由似さん(教育大釧路校1年)も何か書いていたなー

帯広仮説サークルのサークルニュース(1998. 10. 19発行)に「第3回だよ」という資料の一部が載っていたのを読みました。

分子模型つくるのって, 最初はいいけど, すぐ作るものなくなっちゃう。際限なく作りつづけるゆにとちがって, 程々作れば満足らしい。場所もとるし, 作りすぎると邪魔らしい。私が授業書&分子模型にはまったみたいにみんなも…ってわけにはいかないということ, 思いっきり感じました。それだけゆにが異常って事? 場所と時間をひねり出す私…。そういう自分が好きなんだけど。

この資料を読んだのは, 11月の末だったと思います。その頃, 一郎は分子模型を作る会の必要性に悩んでいた時期でした。そして, 自分と同じ状態になった人との話を知って, 大変興味深かったのです。

分子模型を作る会は参加人数が少ないので, 必要の無い会なのかなとも考えました。でも, 今まで申し込んでくれた方の中には, 日高や釧路からのものもあったのです。ということは確かに需要があるということではないでしょうか。でも, 由似さんも書いているように, 程々でいいようなのです。ですから, 会も程々の回数や規模でできればいいなと思いました。資料の最後に由似さんが「ほそぼそとでもつづけたらいいからな」と書いていました。今の私の気持ちも同じで「ほそぼそと続けて行こう」と考えているのです。